



## ソフトテニス九州大会出場を報告 南関中学校女子ソフトテニス部

南関中学校ソフトテニス部の吉山いろはさん(2年)と高椋琉葵さん(2年)と窪田杏菜さん(2年)と植田朱理さん(2年)が佐藤町長を訪問し、12月26日と27日に熊本県民総合運動公園で開催された第34回九州ジュニア選抜インドアソフトテニス大会への出場を報告しました。

吉山さんは「1回戦を勝てるよう精一杯頑張りたい」と、高椋さんは「自分のやるべきことをし、ペアで協力して頑張りたい」と、窪田さんは「3回戦まで勝ち進みたい」と、植田さんは「初出場なのでペアで協力して頑張りたい」と気合い十分でした。



## 竹箸の魅力を世界に発信 株式会社 ヤマチク

「にっぽんの宝物JAPANグランプリ」が12月14日東京都で開催され、熊本大会を勝ち抜いた株式会社ヤマチク(山崎清登代表)が作ったオリジナルの箸「おかえりの箸」が工芸・雑貨部門で準グランプリを受賞しました。

この箸は、「おかえり」という何気ない家族が交わす言葉のように、寄り添うお箸でありたいという願いから作られました。同社は2月シンガポールで開催される世界大会に出場し世界に発信します。

山崎彰悟専務は「自社の製品は自信があります。竹の製品は世界で注目を浴びているので、竹の魅力とこの製品の思いを伝えたい」と力強く話しました。

## 変化を恐れずに挑戦していくこと オリンピック・パラリンピックムーブメント全国展開事業

町は、東京オリンピック・パラリンピックの機運を盛り上げる事業の一環として、12月23日、サッカー女子元日本代表として活躍した永里優季さんの講演会を南関中学校(樹本龍次校長)で開催しました。永里さんは、自身のサッカー人生を振り返り、「目標はスモールステップで設定することや「情熱を持って打ち込められるものを見つけたい」と自身の経験を話し、生徒たちは熱心に話を聞いていました。

永里さんは、サッカー女子日本代表として11年のワールドカップ優勝に貢献し、現在はアメリカのプロリーグに所属されています。



自身の経験を語る永里さん

## 空手の全国大会出場 中村陽彩三・木村陽斗さん

空手の芦原会館南関支部・木村道場の中村陽彩さん(相谷)と木村陽斗さん(関町)が12月20日大木副町長を訪問し、12月22日愛媛県松山市で開催された松山センチュリーライオンズクラブ杯第14回芦原会館少年四国地区SABAKIトーナメントへの出場を報告しました。

2人は平成31年3月に行われた同トーナメント九州大会で中村くんは優勝、木村君は3位という結果を残し、型・組手両方の部で同大会への出場を果たしました。

中村くんは「昨年は決勝で負けて悔しかったので今年は優勝したい」と、木村くんは「今年は去年より頑張りたい」と意気込みをり、大木副町長は「上位入賞を目指し、次は世界を目指して頑張ってください」と激励しました。



中村さん(左)と木村さん(右)



ワッキーさん(左)と対戦する松永くん(右)

## スポーツテンカを広める

お笑い芸人のワッキーさんが12月2~4日に町内4つの小学校を訪れ、「スポーツテンカ」を子どもたちに伝授しました。これは、町教育委員会とA-Lifeなんかんなどが主催する「南関子ども体力向上コンソーシアム」の事業で、2日は第四小学校(坂本隆文校長)で行い、5、6年生17人が参加しました。

スポーツテンカは、ワッキーさんと日本レクリエーション協会が考案。1対1でゴムボールを投げ合い、キャッチのポーズで点数を競うゲーム。

松永亘平くん(四ツ原)は、「楽しかったけどキャッチが難しかった。低学年の子たちにも教えてみんなで遊びたい」と話しました。



真剣な表情で取組む児童

## 豆腐そのものを味わう 南関第三小学校3年生が豆腐作り

南関第三小学校(森山資典校長)で、12月9日ゲストティーチャーとして、株式会社丸美屋(東健代表取締役)の福永哲也さんを迎え、総合的な学習の時間に豆腐作りに挑戦しました。

この日は3年生18人が参加。児童たちは、それぞれの班で役割分担し、豆腐作りを楽しみました。

また、にがりやを舐めた児童たちは、その苦みに驚いていました。体験した児童たちは「にがりやが苦かった」「自分たちで作ったものは、とてもおいしい」とにっこり。楽しい雰囲気の中で多くの笑顔が溢れていました。

## 九州小学生ソフトテニス九州大会出場を報告 中嶋海音さん

A-Lifeなんかんに所属する中嶋海音さん(下坂下)11月28日大木副町長を訪問。11月30日から大分市で開催された「九州小学生ソフトテニス研修大会」への出場を報告しました。

中嶋さんは、9月に熊本市で開催された同大会予選で準優勝し団体戦の選抜チームに入り、今大会の出場を手に入れました。

中嶋さんは「小学生最後の大きな大会なので、悔いの残らない試合にしたい。1つでも多く勝ち残れるよう頑張ります」と意気込みを語り、大木副町長は「これまでたくさん努力をしてきたと思います。町の子どもたちのお手本になるよう、活躍を期待します」とエールを送りました。



報告に訪れた中嶋さん(左)

## 夢に向かって難関突破

有限会社花見商店の花見洋昭代表と株式会社ヤマチクの山崎清登代表が12月17日、南関中学校を訪問。2人は、さまざまな困難を突破してほしいという願いが込められた「難関突破への架け箸」と、「難関突破米(300グラム)」を3年生に贈呈しました。

贈呈式には、大津山阿蘇神社で難関突破を祈願したトッパ丸も登場。トッパ丸特製のぼんそうこうを生徒たちに手渡しました。

生徒を代表し、立山彩音さん(小原)は「受験に向けて不安や焦りもありますが、自分たちの夢を叶えるため頑張ります」と凛とした表情で語りました。



▲ 贈呈された米、箸、ぼんそうこうを持ってポーズ